

－ふれあい教室に入級する流れ－

○電話（面談日の調整【学校から連絡】）

- ・ふれあい教室 ☎ 21-3938（14時以降 16時まで）
- ・教育研究所 ☎ 24-1242（16時以降）

○教育相談・教室見学の実施

- ・本人、保護者との面談
- ・学校との情報交換

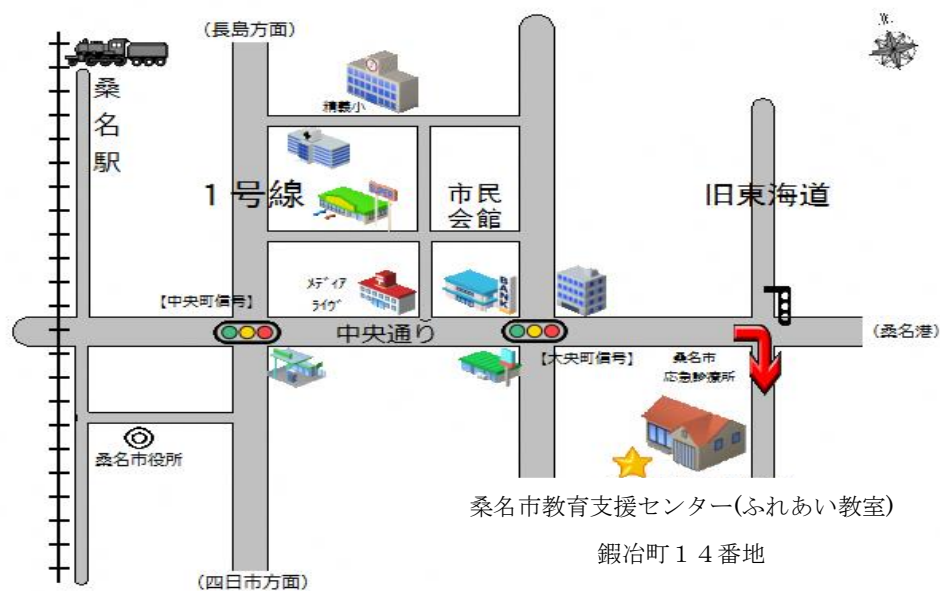
○体験通室の実施

- ・学校または、保護者（本人）より、体験通室の希望
- ・教室への安定的な通室

○正式通室

- ・学校との情報交換
- ・保護者へ正式通室の手続き

＊ 随時、不登校相談を行っています。
 ＊ 月1回の臨床心理士による相談を実施しています。（この相談は、通室を前提としていません。お問い合わせ TEL 21-3938）



ふれあい教室

ごあんない

はじめましてふれあい教室です。この教室は、学校へ行きづらくなった子どもたちが安心して活動できる居場所です。

学校復帰を含め、不登校の状態から自ら動き出そうとする子どもたちをサポートしています。

○ふれあい教室では…。

- ・通室生の自主的な活動を尊重し、日常生活を通して、心身の安定と自分を見つめ直すための支援を行います。
- ・何らかの形で登校を望む子どもに対しては、学校生活への復帰に向けた支援を行います。



ふれあい教室は、不登校の児童生徒、 その保護者を対象に支援を行います。

□学校へ行けない理由は、子どもによって様々…。

例えば、学校へ行こうとするとお腹が痛くなる。

集団生活が苦手、他の人の視線が気になる。

学校のことを考えると、漠然とした不安が襲ってくる。

朝、起きられない。体が重く、動くことができない。

原因がはっきりしている（いじめ、勉強が苦手など）。

◎お話をしましょう！

ふれあい教室では、指導員と話をしながら、お互いを理解し合うことを大切にしています。また、年齢の違いがあっても、共通の趣味があれば、他の通室生と楽しくおしゃべりができますよ。



- ・趣味や特技、興味があることについて話をしましょう。
- ・一緒に絵を描いたり、ゲームやアニメの話をしたりしましょう。

◎一緒に遊びましょう！

ふれあい教室で、話をすることと同じくらい大切にしていることは、一緒に遊ぶことです。指導員や通室生と一緒に遊ぶことで、気分が晴れたり、仲良くなったりすることもあります。



- ・トランプやボードゲーム、カードゲームなどしています。
- ・バドミントンやドッジボール、卓球などします。



*保護者の皆様 学校への登校に行き渋りを見せたり、不登校の状態になったり、お子様の様子を見ていると不安や心配が和らぐことはないと思います。不登校の要因は、それぞれのお子様によって違います。学校に行きたくても行けない、そんな時のお子様は、あらゆることに敏感になり傷つきやすく、心の回復力が弱っています。こうした状態が続くと、身体的な症状がでることもありますので、生活習慣は維持しつつも、ある程度の期間、休息が必要になります。

ふれあい教室の 1 日

9:00	10:00	11:00	12:00	12:30	13:50	14:00
ふれあい タイム①	集中する 時間	ふれあい タイム②	昼食	ふれあい タイム③	片付け 帰りの準備	

※開室日は、月曜日から金曜日（土日祝日は閉室）

※火曜日・金曜日午後は、個別支援の時間（集団で過ごす通室生は昼食まで）

※通室の仕方や時間は相談

○ふれあいタイム 話やゲームなどを楽しめます。

○集中する時間 学習の時間です。学校のドリル・ワーク・プリントや持参した学習ワーク等に取り組みます。タブレット学習等も含め自分のペースで集中して学習します。

○昼食 楽しく話をしながら食事をします。

○一日の振り返り 生活ファイルに一日の活動の振り返りを記入します。

☆日々の活動に加え、様々な体験活動

- ・体験活動（調理、畑づくり、卒業生を送る会など）
- ・教室外学習、デイキャンプ、社会見学等



ふれあい教室に通室する際の注意点

- 服装は自由ですが、髪の毛の染色、カラーコンタクト、ピアス等のアクセサリ（マニキュアなども含む）はしないでください。
- 集中の時間を利用する場合は、どのように過ごすか家で話し合ってから、学校から貸与されている **タブレット端末（学習用）**・ドリル・ワーク・本などを持参してください。
- 3週間以上利用（通室）がない場合は、事前に連絡を取り予約をしてください。
- 通室生の心の安定を乱す恐れのある行動（他人の荷物を勝手に触ってしまう等の行為）や言動（攻撃的な発言等）をしてしまう方の施設の利用をお断りや停止をする場合がございますのでご理解いただきますようお願いいたします。